

議会だより

# あやがわ



四国内開催初！  
四国高校総体ロードレース競技を  
綾川町にて

6.8 COPPA AYAGAWA 2025 綾川町ロードレース  
6.8 sun JBCF CYCLE ROAD SERIES 2025



5月臨時会	.....	2P
6月定例会	.....	3P
審議結果	.....	4P
委員会報告	.....	5～7P
一般質問	.....	8～17P
スポーツで綾川を盛り上げよう！ 主基斎田お田植まつり110	.....	18P



綾川町議会ホームページ



5月臨時会

## 昭和・滝宮・羽床小学校体育館の空調設備工事を

合計2億1178万3千円で契約

## 町長の専決処分事項

## 条例の改正

## ●綾川町税条例

「地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」が公布されたことに伴う改正。

改正の主なもの

- ・特定親族特別控除の創設に伴う規定の新設及び関連する規定の整備
- ・軽自動車税種別割の区分の見直し
- ・加熱式たばこの紙巻きたばこへの換算基準の見直し

## ●綾川町国民健康保険税条例

「地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」が公布されたことに伴う改正。

改正の主なもの

- ・課税限度額の引き上げ
- 基礎課税分

65万円↓66万円

後期高齢者支援金等課税額分

24万円↓26万円

- ・世帯の軽減判定所得の算定基準の引き上げ

5割軽減対象世帯

29万5千円↓30万5千円

2割軽減対象世帯

54万5千円↓56万円

## 令和7年度綾川町一般会計補正予算(第1号)

匿名の町民の方からの寄付を受納しており、寄付者の意向によるICT教育の推進に充当し、中学校においてICT機器を購入するもの。

## 工事請負契約の締結

## ●綾川町立昭和小学校体育館

## 空調設備工事

契約金額(消費税込)

8379万8千円

契約者

株式会社 フソウ

代表取締役 角 尚宣

## ●綾川町立滝宮小学校体育館

## 空調設備工事

契約金額(消費税込)

6589万円

契約者

三信電気水道 株式会社

代表取締役 松原 秀樹

## ●綾川町立羽床小学校体育館

## 空調設備工事

契約金額(消費税込)

6209万5千円

契約者

株式会社 カナツク

代表取締役 大石 政仁



羽床小学校体育館



滝宮小学校体育館



昭和小学校体育館

【空調(冷房)設備※1の設置状況】 令和6年9月1日現在(文部科学省より)

学校種	室の種類	保有室数	うち	設置率	前回R4 設置率 [上昇率]
			設置済室数		
小中学校等 ※2	普通教室	428,906	425,245	99.1%	95.7% [+3.4%]
	特別教室	387,647	266,136	68.7%	63.3% [+5.4%]
	体育館等	35,248	7,801 (11,180)※3	22.1% (31.7%)※3	15.3% [+6.8%] (24.7%)※3

※1 冷房機能を有した設備(スポットクーラーを含む)

※2 「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」(平成30年度補正予算)の対象となった学校種(公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校、幼稚園等)

※3 体育館等の()は災害時の調達協定等により緊急時には外部より確保可能としている室数を含めた場合の数値

今回の契約により、町内においては全ての小中学校体育館に設置となる見通しである

# 綾川中学校電子黒板整備を

## 1696万5300円で契約

### 条例の改正

6月定例会は6月9日から6月13日の会期で開催した。初日は提案された議案10件、報告3件について提案理由の説明があり、一般質問には9議員が登壇した。その後、関係常任委員会に議案を付託し、散会した。

10日、11日に各常任委員会を開催し、付託された議案を審議した。13日に本会議を再開し、委員会の報告を行い、議案を原案通り可決。また、閉会中の議会運営委員会と議会広報特別委員会の所掌事務調査を継続審査とし、閉会した。

今回の傍聴は、延べ10名であった。

### 物品売買契約の締結

●綾川町自転車等駐車場条例  
綾川町挿頭丘駅前自転車等駐車場を駐輪場として追加するための条例改正。

●綾川町立学校体育施設使用条例  
陶小学校の体育館に空調が整備されたこと、昭和小学校、滝宮小学校、羽床小学校の体育館に空調設備が整備されることに伴い、空調使用時の料金の設定について規定するための条例改正。

●綾川町下水道条例  
綾川町農業集落排水処理施設条例  
国が定める標準下水道条例の改正に伴う条例改正。

### 物品売買契約の締結

●綾川町消防団小型動力消防ポンプ付積載車更新事業  
契約金額（消費税込）  
1749万円（2台）

契約者  
株式会社 福島商会  
代表取締役 福島 桂子

●綾川中学校電子黒板整備事業  
契約金額（消費税込）  
1696万5300円

契約者  
四国通建 株式会社  
高松支店  
支店長 藤田 一司

### 綾川町立小中学校情報機器等整備事業

契約金額（消費税込）  
1億29万9100円

契約者  
株式会社 大塚商会  
広島支店  
支店長 真子 健

### 綾川町一般会計補正予算（第2号）

●定額減税補足給付金  
不足額給付を実施するため給付金として、1億2150万円を、事務費として496万1千円を増額補正し、補正後の歳入歳出の総額を124億4746万1千円とするもの。

### 字の区域の変更

●県営農業競争力強化農地整備事業  
羽床下地区において、基盤整備事業を実施したことに伴い、1工区内で従来の字界が原型をとどめなくなったことにより、換地処分を行うに当たり、字界を変更する必要があるため。

### 監査委員の任命同意

任期 令和7年8月3日  
～令和11年8月2日  
渡邊 宣夫氏（72） 再任  
山田上



## 5月臨時会（5月2日）

議案の内容	審議結果
町長の専決処分事項の報告（綾川町税条例の一部改正）	原案可決
町長の専決処分事項の報告（綾川町国民健康保険税条例の一部改正）	//
工事請負契約の締結（令和7年度綾川町立昭和小学校体育館空調設備工事）	//
工事請負契約の締結（令和7年度綾川町立滝宮小学校体育館空調設備工事）	//
工事請負契約の締結（令和7年度綾川町立羽床小学校体育館空調設備工事）	//
財産の取得	//
令和7年度綾川町一般会計補正予算（第1号）	//

## ※令和7年度綾川町一般会計補正予算（第1号）の内訳（歳出のうち主な増額補正）

2,100万円を増額し、総額123億2,100万円とした。

（千円）

内 容	補正額	審議内容掲載ページ
綾川中学校情報機器整備事業、施設等修繕費（電子黒板導入のため）	21,000	2 P 2 段目

## 6月定例会（6月9日～13日）

## ■全会一致の議案

議案の内容	審議結果
綾川町自転車等駐車場条例の一部改正（令和7年6月13日施行）	原案可決
綾川町立学校体育施設使用条例の一部改正（令和7年7月1日施行）	//
綾川町下水道条例の一部改正（令和7年6月13日施行）	//
綾川町農業集落排水処理施設条例の一部改正（令和7年6月13日施行）	//
物品売買契約の締結（令和7年度綾川町消防団小型動力消防ポンプ付積載車更新事業）	//
物品売買契約の締結（令和7年度綾川中学校電子黒板整備事業）	//
物品売買契約の締結（令和7年度綾川町立小中学校情報機器等整備事業）	//
令和7年度綾川町一般会計補正予算（第2号）	//
字の区域の変更	//

## ■賛否が分かれた議案

議案の内容	議員名	川崎	三好	浜口	大西	森	小田	三好	十河	植田	西村	大野	岡田	井上	福家	福家	河野	議決結果
		泰史	和幸	清海	哲也	繁樹	郁生	東曜	茂広	誠司	宣之	直樹	芳正	博道	功	智子	雅廣	
監査委員（識見）の選任同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	㊦	○	—	原案可決 （賛 13、反 1）

※○賛成、●反対、㊦欠席 ※一 議長（採決には加わらない）

## ※令和7年度綾川町一般会計補正予算（第2号）の内訳（歳出のうち主な増額補正）

1億2,646万1千円を増額し、総額124億4,746万1千円とした。

（千円）

内 容	補正額	審議内容掲載ページ
定額減税補足給付金（不足額給付の給付金および事務費）	126,461	3 P 4 段目

# 総務委員会

## 綾川町自転車等駐車場条例の一部改正

放置自転車の撤去など適切な管理を行うため、挿頭丘駅前駐輪場を新たに追加するものである。

**問** 挿頭丘駅前駐輪場に屋根を付けてもらえないか。

**答** 琴電駅前整備を進めており、時期が来たら検討する。

**問** 放置自転車撤去の公示はしているのか。

**答** 条例の議決後、公示を行い撤去の手続きを進める。



屋根付き駐輪場(綾川駅)

## 綾川町立学校体育施設使用条例の一部改正

令和7年3月に陶小学校体育館、また、本年度に昭和小学校、滝宮小学校及び羽床小学校の体育館に空調設備が整備されることに伴い、学校体育館施設開放事業における一般利用者が空調を使用する際の空調使用料を規定するための改正。

**問** 現在設置されているモニターは撤去後どのようにするのか。

**答** 設置から随分経っており、故障した際の部品も無いため使えるものについては町内の学校で再利用し、使えないものについては廃棄する。

## 物品売買契約の締結(令和7年度綾川町立小中学校情報機器等整備事業)

綾川町立小中学校にGIGAタブレット端末を、予備機を含めて1900台整備する。令和2年度に購入したタブレットが5年目となり更新する事業である。

**問** 不要になった車はどうするのか。

**答** 過去に他自治体で再利用によるトラブルもあったため廃棄処分とする。

## 物品売買契約の締結(令和7年度綾川中学校電子黒板整備事業)

綾川中学校の普通教室18室に電子黒板を整備する。

## 繰越明許費計算書

### ●総務課関係

自治体システム標準化対応業務について、4016万1千円を繰り越す。また、空き家計画改訂業務について、240万円を繰り越す。

### ●学校教育課関係

陶小学校特別教室等改修工事として、2500万円繰り

越す。また、綾川町立小学校体育館空調設備工事として、2億4900万円繰り越す。

### 【報告】

体育館空調設備について、当初は小学校の2校で計画されていたが、未整備の小学校全校を整備することとなり、地元住民から喜ばれている。

### その他

### ●滝宮の念仏踊

## 【問】 駐車場の確保は。

**答** 役場駐車場、旧滝宮保育所前駐車場のほか、イオン駐車場も臨時駐車場として予定している。

### ●綾川町サイクルロードレース

## 【問】 COPPA AYAGAWA2025】

**問** 大きなトラブルはあったか。

**答** 主に町外や県外の方が通行止めを知らず、コース沿いまで来てしまうこと、ボランティアスタッフの駐車場で、地元住民にご迷惑をお掛けしたことがあった。

## ●学校行事での大阪・関西万博見学

**問** 小中学校の修学旅行について、現在開催されている大阪・関西万博へは行っているか。

**答** 先日、昭和小学校が行っており、羽床小学校と綾上小学校が秋に行く予定である。修学旅行等の校外学習の内容については、教育効果や運営などを考慮し、各学校で決めている。



# 厚生委員会

## 繰越明許費繰越計算書

令和6年度予算の繰越について、総額計4999万6千円を繰り越す。

戸籍に氏名のふりがなを記載する通知書発送業務費など  
(386万6千円)

住民税非課税世帯などへの臨時給付金(合計3663万円)

マイナ保険証を医療費助成の受給者証として利用できるようにするためのシステム改修費(950万円)

### その他

●E-Wa(イーワ)での決済方法

**問** 綾川町ではWAONを地域通貨として本年度のデジタル商品券になることが決まっているがWAONには地域通貨機能がない。しかしながらイオンに確認するとWAONから、小規模店でも活用可能で地域通貨機能のあ

るイオンペイへの統合が決定している(6月26日発表)。E-Wa(イーワ)でイオンペイは使えるか。

**答** イオンに確認したところ利用可能。イーワではイオン店舗で利用可能な支払手段はすべて使える。



QR決済等ができるイオンペイ

### ●「母子健康手帳」の名称

**問** 父親も主体的に関われるよう「親子健康手帳」などに変更できないか。

**答** 県内でも名称を変更した自治体はあるが、現在は、

父親が記入できる欄を設けるなど、使いやすさを重視して手帳を選んでいる。今後、県内の状況も確認しながら検討する。

### ●相談業務について

**問** 令和6年度に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、どのような相談が寄せられているか。

**答** これまでに3件の相談があった。経済的な問題やDV被害など、複数の悩みが重なっているケースで県の女性相談支援員と連携し、一人ひとりに寄り添った支援を行っている。

父親記入欄のある綾川町母子手帳と同様の外国人(中国)向け母子手帳

### ●地球温暖化対策(ゼロカーボン)

**問** 町施設へのLED照明導入や、公用車への電気自動車(EV)導入について、現状どのような計画、予定があるか。

**答** LED化や公用車のEV化は、担当課と情報共有し、協議を進めていく。また、町が「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことを広くお知らせするため、6月中旬に町ホームページに掲載する予定。



公用車の電気自動車

### ●もみじ温泉の休止

**問** 今後の施設利用計画は。

**答** 社会福祉協議会が、レクリエーション活動(カラオケなど)での利用を検討している。合宿施設としての利用

なども含め、今後の計画については、社協と連携して決定次第報告する。

### ●遠隔医療相談

**問** 自宅から医師に相談できる、産婦人科や小児科の遠隔医療相談を導入する考えは。

**答** 先進的な自治体の事例を参考に、今後の研究課題。

町単独で導入するよりも、近隣の市町と協力して広域で運用の方が効果的な可能性もあるため、様々な視点から検討していく。

### ●出生率について

**問** 町は子育て支援策をどのように考えているか。

**答** 町として子育て支援策は十分に行っていると考えている。しかしながら支援がすぐに出生率に反映されるものではないと認識しており、長期的な視点が必要。小学校では、子供達が将来の働き方や生き方を自らデザインする力を育む「ライフキャリア教育」にも取り組んでいる。

# 建設経済委員会

5月2日 臨時会

## 財産の取得

面積 5万5821㎡  
樹本数 431本  
取得予定金額(消費税込)  
4509万860円  
取得の目的  
長柄ダム再開発事業に伴う  
山林保全措置制度を活用し  
て、長柄ダム周辺の山林を  
公有化するために財産を取  
得する。

6月11日 定例会

## 綾川町下水道条例の一部改正 綾川町農業集落排水処理施設 条例の一部改正

災害などの非常時に、町長  
が必要と判断した場合には、  
他の自治体が指定している工  
事店による排水設備等の工事  
を認めるものである。

## 繰越明許費計算書

### ●経済課関係

防災重点農業用ため池水  
位計・監視カメラ設置工事で  
1340万円、防災重点農業  
用ため池廃止工事で800万  
円、あやがわスマイル応援券  
発行事業で448万1千円を  
繰り越す。



ため池廃止工事(写真は令和5年度  
実施分)

### ●建設課関係

町道中植西線道路改良事業  
で2375万円、長柄ダム再  
開発事業関連町道栗原長柄線  
道路改良事業で5767万円  
を繰り越す。

「令和6年度有限会社綾歌南  
部農業振興公社事業報告及び  
決算」  
「令和7年度有限会社綾歌南  
部農業振興公社事業計画及び  
予算」

事業収益は減少の傾向にあ  
る。作業受託については、農  
業者からの委託面積が減少し  
ている。

## その他

●道の駅滝宮・綾川町うどん  
会館の実績報告

【要望】 COPPA AYAGAWA  
の大会当日だけでなく、事前  
に下見や練習に來られる方向  
けに、主基斎田記念館を休憩  
所として利用してもらって  
ど、主基斎田のPRも合わせ  
て出来るような取組みをして  
はどうか。

答 関係各課との協議を行  
う。

【問】 サイクルスタンドの商  
店への設置に対する補助は。

答 商工会の意向を確認す  
る。

### ●綾バルの開催

8月30日(土)の17時から  
22時に道の駅滝宮で開催予定  
である。出店者の募集期間  
は、6月10日から23日であっ  
た。

### ●あやがわスマイル応援券

令和6年度の応援券(紙発  
行)の有効期限は、令和7年  
9月30日で、4月30日時点で  
75%の換金率である。デジタ  
ル商品券は有効期限が令和7  
年2月28日で終了しており、  
利用率は98.8%であった。

令和7年度分は、物価高騰  
対策で、引き続きプレミアム  
率を20%とし、紙発行する応  
援券は1万セット、WAON  
チャージキャンペーンでは  
4000名を対象にする。

### ●キャッシュレス決済端末補助

今年度のWAONチャージ  
キャンペーンへ参加できる店  
舗を増やすため、新規に導入  
する決済端末に対し、機器代  
金の2分の1を補助する。

### ●斎田記念行事

6月1日に愛知県岡崎市で  
悠紀斎田お田植えまつり、6  
月15日に綾川町の主基斎田お  
田植えまつりが開催された。

### ●米施策

【問】 町独自の施策は。

答 国は、新たな食料・農  
業・農村基本計画で、食料安  
全保障の確立を目指してお  
り、適正な価格形成に向けた  
法案の審議も進められてい  
る。さらには、米政策の在り  
方を議論する関係閣僚会議が  
開催されているため、今後の  
国や県の動向を注視したい。

### ●千足地区工業団地

【問】 進捗状況は。

答 地元説明会を2回開催  
し、事業を進めている。

### ●町の観光とSNS発信

【問】 所管課はどこか。

答 今年度より経済課が観光行  
政全般を所管している。SNSに  
ついては、いいまち推進室と連携  
して町のPRに努めていく。

# 一 般 質 問

一般質問の全文・音声をインターネット公開しています。

・発行時には最新の定例会分が更新されていない場合があります。  
表示されないときは、日時をおいて再度お試しください。



6月定例会では、9名の議員が登壇し、町政について質問を行った。

(◎の質問を発言順に内容を要約して掲載)

質問者	質 問 内 容	掲載ページ
ふ け り ち こ 福家 利智子	◎いじめ対策の強化は	9 P
いのうえ ひろみち 井上 博道	◎不適切投棄の山間部での現状と対策は	10 P
もり しげ き 森 繁樹	◎【綾川に泊まる理由】を作る ◎町内バス事業における自動運転バス導入の可能性	11 P
みよし かずゆき 三好 和幸	◎主食米の今後を問う ◎緊急捕獲の捕獲個体確認作業を問う	12 P
おおの なお き 大野 直樹	◎ひとり親家庭等が利用しやすい相談体制は ◎虐待対策として子ども家庭センターの設置は	13 P
おおにし てつ や 大西 哲也	◎農業分野における企業参入の推進を ◎生徒会活動について	14 P
みよし どうよう 三好 東曜	◎台湾・松本虎太記念館リニューアルオープン対応は ◎予防接種行政にはインフォームド・コンセントの徹底を	15 P
かわさき やすふみ 川崎 泰史	◎地元企業の魅力を PR する取り組みを ◎地方版食料安全保障の実施は	16 P
はまぐち きよ み 浜口 清海	◎気候変動に対する町の対策を問う	17 P



一般質問とは…議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、直接質問して確かめること。疑問点を質し、政策的提言等も行う。





ふけりちこ  
福家利智子 議員



## いじめ対策の強化は

### いじめ対策を含めた体制強化を図る

**問**

いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりのための年間の学校教育活動全体を通じた「学校いじめ防止プログラム」の策定等を定めているが、学校現場での取り組みは不十分と言わざるを得ない。

きめ細やかな指導が行えるよう、教員定数の充実及びICT指導員などの人員確保を行う必要がある。また、ICTリテラシー教育と同時に、ネットいじめの防止策などを進めるべきである。

子どもたちが安全に安心して過ごすことができる環境の整備のため、どのように取り組んでいるのか。

**答**

教育委員会が把握しているいじめの認知件数は、令和6年度が58件でそのうちネットいじめの発生状況は数件。

国が定める「学校いじめ防止プログラム」および「いじ

めの重大事態の調査に関するガイドライン」にのっとり対応し、特に学校だけでは解決できない事案については、警察、各種機関や法律の専門家との連携を図り速やかな解決に努める。ICTリテラシー教育の充実と、ネットいじめの防止については、タブレットの利用においてフィルタリングソフトを導入し、有害サイト等の閲覧や、アプリのインストールを制限するなど対応している。

今年度から、各学校に配置しているICT支援員により情報モラルの指導も新たに実施している。子どもだけでなく、教員に対しても研修を行い、いじめ対策を含めた体制強化を図っていく。

**問**

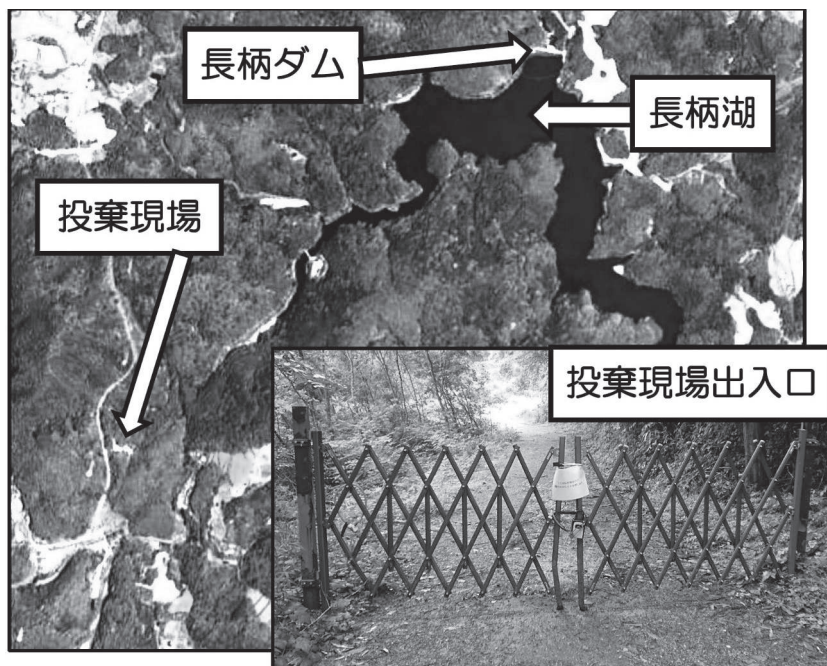
ネットいじめの発生は数件であり、現状は少ないのかもしれないが、件数の問題ではなく、発生した際の対応が重要である。迅速に

**答**

各学校に対して、迅速に被害者の立場に立った対応をするように、定例校長会等を通じて指導していく。

対応ができるように、日頃から対策を行っているのか。





いの うえ ひろ みち  
井上 博道 議員



# 不適切投棄の山間部での現状と対策は

## 香川県及び高松西警察署と連携して対応中

本町西分地区への物品不適切投棄事案に対する認知が拡がってきている。長期間に亘ると推定される西分地区への不適切投棄の現状は酷い。一般廃棄物及び産業廃棄物に係る本町の日常パトロール方法等に加えて、本事案の現状と対策についての本町の見解を聞く。

**問** 日常の各種ゴミ出し状況の点検、山間部への廃棄物有無等に対する日常パトロール方法、人員、点検エリアの選定基準と記録方法、望遠鏡・ズームカメラ等の監視・記録機器の携帯有無はどうか。

**答** 監視機器類を持参してのパトロールはしていない。公道等で廃棄物を発見した場合は、情報提供により、その都度対応している。香川県の定期的不法投棄監視においても、廃棄物の事案があった場合は対応している。

**問** 不法盛土を早期に発見して対応するため、定期的パトロール、衛星データ

やドローン最新技術を活用した監視等の検討を香川県は進めている。予算規模の違い等の課題もある中、本町ではどこまでの施策が可能なのか。

**答** ヘリコプターの活用やドローン等の最新技術を用いることは、事案の発見に効果的な手段である。しかし、予算規模が大きくなるので、本町は香川県からの情報提供を受けることを主に検討を進める。

**問** 本町はいつ、どのような本事案を知ったのか。本町内での不適切投棄事案は他に有るのか無いのか、実態を把握しているのか。当該地の地目は田だが、本町農業委員会が本事案を知ったのはいつか。日頃の町内農地のパトロール状況と、問題があった場合の対応はどうか。

**答** 香川県中讃保健福祉事務所から、本年2月中旬に情報提供を求められた。3月上旬に得た情報により、香川県と情報共有を図っている。4月中旬に現地目視確認を行い、本町農業委員会へ情

報提供をした。農地パトロー

ルは年1回実施している。問題があった場合は現地を確認し、香川県と情報共有を図り、連携して対応する。

**問** 本町がゴミ屋敷状態にならないよう、さらに厳しい条例を制定して取り締まるべきである。香川県警及び県関係当局とも連携して、豊島産廃問題のようにならないよう、直ちに行動に移すべきである。調査・捜査結果次第では、農地法違反、廃棄物処理法違反による措置命令が必要になるが。

**答** 廃棄物処理法に対応や罰則が規定されている。また、立入検査等の権限があるが、今回の事案は香川県及び高松西警察署と連携を取って対応中なので、個別の対応方法は(答弁を)差し控える。豊島問題のようにならないよう、今後も、事案発生時は香川県と連携し、指導や改善をする。高松西警察署とも情報共有を図り、捜査に協力する。

共有を図り、捜査に協力する。

西分地区の不適切投棄現場の位置図 (衛星写真出典: Google Earth)





他施設と大浴場を共用する宿泊施設



もり  
森

しげ き  
繁樹 議員



## 【綾川に泊まる理由】を作る

民間利用を念頭に進めていきたい

### 問

本町は「通過される町」とよく言われる。国道32号の日平均交通量は約3万3000台、高松道・高松西IC〜善通寺IC間は延べ4万6000台。ところが、これだけの車が行き交うにもかかわらず、本町で泊まる理由が乏しい。県外観光客の約79%は「車」で来県。

高松中心部との差別化やメリットは、大きな平面駐車場を用意しやすいことや、高速入り口までのアクセスの良さ、渋滞リスクの無さなどで

### 答

ある。また、大浴場をスポーツジムとシェア利用する形なども可能性としてある。また、ホッケー認定の町や周辺施設で行われているイベント等との絡みを深く強め戦略をもってPRしていく必要があるが、「もみじ温泉」をスポーツ合宿施設として運用はどうか。高齢者のデイサービス用施設と入口を分けて、大浴場をシェアするという形にすることで、今までより経費負担を分散するという考え方も出来るのではないか。今後の

### 答

町としては宿泊施設の整備予定はなく、既存の一棟貸し宿など民間事業者との連携を重視する。「もみじ温泉」は老朽化と多額の改修費が課題で、町による運営や活用には柔軟性や採算性の面から慎重な判断が必要。現時点で町としては宿泊施設を整備する予定はなく、市場の動向を敏感に捉え、需要に応じたサービスを展開する能力がある民間事業者が実施すべきものである。

## 町内バス事業における自動運転バス導入の可能性

### 社会的な動向を注視

### 問

近年、運転士不足と高齢化が同時進行し、地域公共交通の維持が全国的課題となっている。国もこの件に目標を掲げ、制度整備と補助メニューを拡充している。自動運転の導入または実証実

### 答

験に対して町の考えは。町営バスは現時点で問題なく運行しているが、運転士不足や高齢化の進行は町も認識している。自動運転は移動手段確保など効果が期待される一方、悪天候下で

のセンサー作動不良など安全面の課題や、初年度で約2.2億円の運用コストが示されており、導入は容易ではない。今後は他市町の動向を注視し、研究課題とする。



箱罠を使って捕獲したイノシシ



み よし かず ゆき  
**三好和幸** 議員



## 主食米の今後を問う

### 安定供給の維持を支援したい

**問**

物価高騰のありを受け、コメ不足で価格が昨年の2倍になり、住民からは「節約するところがなく食費を切り詰めるしかない」との声がある。一方で生産する農家が急減している。

コメ不足に陥った要因は、減反と低米価政策の押し付け、農家支援を切り捨ててきた政府にある。前政権時に10ア

**答**

農業者皆様への主食用米の作付け拡大の呼びかけにより前年比21ha増の775haの見込み。今後は需給状況をもとに地域計画の見直しを行い農地の有効利用や担い手以外の意欲ある多様な人材の確保に努め主食用米の確保、安定供給を維持できるよう支援したい。

## 緊急捕獲の捕獲個体確認作業を問う

### 猟友会の意向で廃止している

**問**

今年になり、鳥獣被害対策実施隊員が行う捕獲個体の確認作業実施要領が廃止になった。罠にかかったイノシシ、シカなどは興奮しており非常に危険である。個体によつてはイノシシで体長1メートルを超えるものも捕獲されており、中でも特にくくり罠はワイヤーロープ一本で、とても危険である。近隣の自治体では、複数の確認作

**答**

昨年度、猟友会役員との協議の中で「県内市町では、このような作業は行っていない。猟友会会員は捕獲だけすれば良いのでなく、捕獲者自身が、自己責任

により捕獲から止めさし、埋設まで行えるように人材育成を図りたい。また、捕獲確認者がいないことにより、一人で行う止めさし等の作業には危険が伴うが、そのことについては、猟友会として検討する」との意向から廃止したものである。





おおの なお き  
大野直樹 議員



ひとり親家庭等が利用しやすい相談体制は

公式LINEの構築は研究課題とする

少子化の進行とともに家庭の形は多様化し、ひとり親や共働き家庭のワンオペ育児が増加している。

育児・家事・仕事を一人で抱えることで精神的負担や孤立・困窮のリスクが高まる。

**問** 非課税世帯や児童扶養手当の受給世帯の数を確認し、現場の声と照らし合わせて分析することで「困っている家庭の数」や「支援が必要な家庭の規模感」が見えてくるが、状況把握はしているか。

**答** ワンオペ育児に特化はしていないが、子育て支援施

包括的な支援体制として、こども家庭センターの創設は

令和9年4月こども家庭センターを設置予定

**問** 虐待の連鎖を断ち切るための施策は。相談拠点として、こども家庭センターの創設は。

**答** 必要に応じて、児童家庭相談員が家庭訪問を  
経済的支援が必要な場  
行い、

設や子育て支援センター、こども園や児童館等で育児相談を受けており、内容を把握している。

**問** 現在での支援体制ではサポートできない事例に対する家庭への対策は、公式LINEなどを導入してみているのか。

**答** 包括的支援会議において、各機関だけでは解決できないケースについて、支援の方向性を協議している。

今年度からスクールソーシャルワーカーを1名増員、学校生活相談員や県からのスクールカウンセラー派遣事業を活用し、相談体制を整備している。

育児疲れを理由とした一時保育の利用や子育て支援施設や子育て支援センター等での育児相談、子育て支援課での子ども育児相談専用電話も開設している。公式LINEの構築は研究課題とする。

**問** 子どもへの影響と学習支援・居場所支援は。

**答** 今年度からひとり親等学習支援事業の対象者を、小学1年生から中学3年生までに拡充した。

塾に通っていない中学3年生を対象としたステッ・プ・アツ・セミナーも昨年度から夏・冬年2回の開催をしている。

**答** 11月は、オレンジリボン・児童虐待防止推進

キャンペーンとし、活動内容を町広報誌に掲載、各施設にポスターを掲示、啓発グッズの配布等をしている。



おお にし てつ や  
**大西 哲也** 議員



主権者教育とは…他者と協働しながら社会を生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を発達の段階に応じて身につけさせるもの（文部科学省より抜粋）

## 農業分野における企業参入の推進を

### 意向があれば農地の調整等に協力する

**問** 企業参入の考えと取組みは。

**答** 企業参入の促進には努めている。

過去に、イオンの子会社からの意向で農地を調整していたが、他地区の農場運営が軌道に乗らず、新規に農場を構築することが難しいとの経営判断から撤退した経緯がある。

**問** 企業参入の補助制度は県に検討していただきたいが、農業に興味を示す企

業に向けた、綾川町で営農する強みの把握と、魅力の情報発信が必要では。

**答** 県の補助制度について、数年前にあったが今はない。広報については検討する。

**問** 西分保育所のサテライトオフィスに選定された株式会社フリエイトアグリは地域の良好な関係を築くことが重要では。

**答** 新規就農者の独立支援を目的とした学校の運営も計画しており、JAやアグリネット綾川等、各関係機関との連携は重要と認識している。

意見交換は行っているが、今後も地域との関係を深められるようサポートする。

## 生徒会活動について

### 主権者教育の重要な役割を担っている

**問** 生徒からトイレ用擬音装置の導入と体育館トイレの洋式化について相談があったが教育委員会の見解は。

**答** 一部に整備されているが、全てのトイレへの導入は研究課題とする。体育館トイレについては屋外事業や災害時の避難所利用も想定されることから、計画的に整備していく。

**問** 学校生活における諸問題を、生徒が自ら解決しようと試みる土壌も必要と感じる。

**答** 生徒会から要望が挙がった場合の対応は。

子ども達の声があれば、実現に向け教育委員会としても応援したい。中学校では生徒会から校則の見直し提案され、変更さ

れたケースがあり、教職員の取組みを高く評価している。子ども達の大事な意見を拒むことはないが、生徒会活動の活性化には教育課程の改善と時間確保が課題であり、働き方改革によって先生方が活力を持って教育活動に取り組める環境が、子ども達をより生き生きと育てることに繋がると考えている。





松本虎太記念館  
(Google Map)



松本虎太  
Wikipedia



台湾を変えた日本人シリーズ  
国際貿易港を造った  
川上浩二郎と松本虎太  
nippon.com記事→



み よ し と う よ う  
**三好東曜** 議員



松本虎太(旧綾南町初代町長)の記念館は台湾基隆(キールン)市の旭ヶ丘に1937年に建立され、2020年から改修中である

## 台湾・松本虎太記念館リニューアル対応は

国際関係を踏まえ慎重に対応したい

の考えは。

旧綾南町初代町長・松本虎太氏は台湾・基隆(キールン)市の港湾整備に尽力し、同地には松本虎太記念館が1937年に建立された。4月26日に同市に視察に行き、早くも本年11月に記念館のリニューアルオープンが計画されている事がわかった。これを契機に祝意の伝達や資料提供、伝統芸能の紹介などを通じた交流の初動をしようか。また、町内における功績の周知や、「讃岐うどん発祥の地」をはじめとした地域資源の国際発信の可能性について

**問** 記念館リニューアルに際し、祝意の伝達や資料提供、伝統芸能を通じた文化交流などを通じて初期的な交流を進めてはどうか。

**答** 松本氏の功績は誇るべきものだが、台湾のみならず中国との関係にも配慮が必要であり、進め方を含め今後研究したい。台湾側からの交流の打診も必要である。現時点で海外自治体との交流は考えていない。

**問** 松本虎太氏の町内での認知は限定的。町政の

**問** 「讃岐うどん発祥の地」の発信を国際的に展開してはどうか。

**答** 町の魅力発信は意義があると認識しており、様々な媒体を活用した広報を今後検討していきたい。

## 予防接種行政にはインフォームド・コンセントの徹底を

中立的な情報提供が責務である

**問** 新型コロナワクチンや子宮頸がんワクチン接種後の健康被害・副反応・死亡例、裁判中の事例があるなかで、行政は「接種の自由」を尊重し、中立的な情報提供を徹底すべきである。住民の判断材料となるよう、リスク情報の明示や「打たない選択

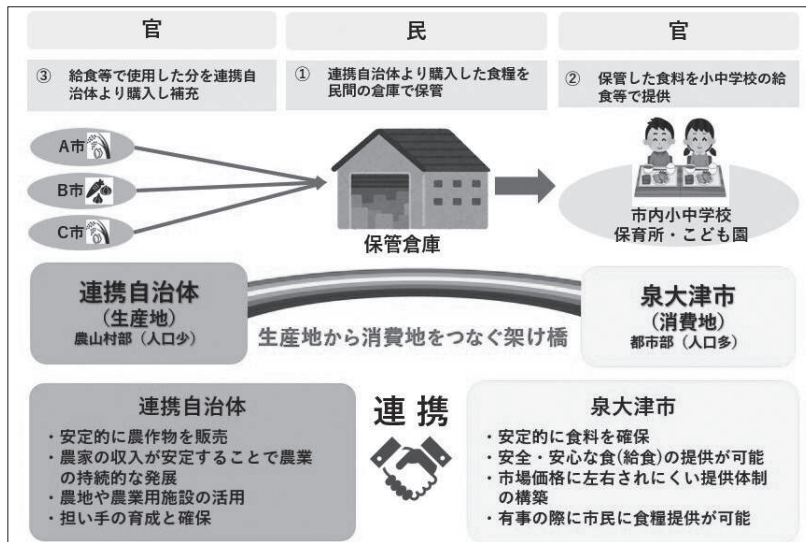
**肢」**の明記、相談体制の整備を求める。

**答** 町は擁護や否定の立場を取らず、あくまで中立の立場で国の発信する情報を正確に伝えることが責務である。

**問** HPVワクチンの案内文に「打たない選択肢」も明記してはどうか。

**答** 通知文では「接種を検討」という表現にとどめ、最終判断は医師の診察と本人・保護者の同意に基づき接種を行っている。

※インフォームド・コンセント  
医師等から十分な説明を受けた上で、医療行為に同意すること。



泉大津市の食料安全保障



かわ さき やす ふみ  
**川崎 泰史** 議員



# 地元企業の魅力をPRする取り組みを

## 情報収集し研究する

**問** 綾川町は若者の地元離れ対策として、地元企業の魅力PRする取り組みを。

**答** 綾川町では、職場体験学習で地元企業に触れる機会を提供。また、「わくわくあやがわーく」という情報誌で企業を紹介している。商工会において就職説明会が開催されるよう連携していく。他市町の地元

企業PR事業については情報収集し、研究していく。

**問** 中学生向けの企業PRは具体的にどうなるか。

**答** 職場体験学習においては、将来、地元での就労につながるよう内容を充実させていきたい。中学生向けの企業PRについては、中学校側との協議が必要である。



三木町のインタビューシップの様子(学生が企業に赴きインタビューを行い発表する)

## 地方版食料安全保障の実施は

### 検討していない

**問** 現在「令和の米騒動」と言われる中、国による食料政策への懸念が高まっている。綾川町で泉大津市の事例を参考に、自治体が農産物を確保する「地方版食料安全保障」を検討しては。これは、契約栽培を通じて出口として学校給食を活用し、オーガニック農産物や高付加価値商品の生産拡大により、農家の経営安定につながる。また

**答** 泉大津市は、他自治体と農業連携協定を結び、米などを年間契約で確保している。市が直接倉庫を持つのではなく、間に事業者を入れて委託し、提携先から年数回に分けて農産物を運び入

れているとのこと。町による直接的な農産物契約は現時点では予定していない。泉大津市が他自治体と連携し、独自の食料確保を進める一方、綾川町では学校給食の安定供給のため、貯蔵や品質管理の観点から香川県学校給食会や委託業者からの納入が適当と考えている。他市町への売り込みも現段階では考えていない。





今治市の山火事 (3月24日質問者撮影)



はまぐち きよみ  
浜口 清海 議員



## 気候変動に対する町の対策を問う

### 熱中症予防の普及啓発、学校の空調整備など

#### 夏場の異常高温対策

**問** 近年の気候変動に伴う異常気象は驚くばかりで、今年も、今後も夏の異常高温は続くと思われる。そこで、本町の今年夏の猛暑対策・熱中症対策を問う。

**答** 近年、気候変動による災害の激甚化対策を、町の重点施策として位置づけ、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す、ゼロカーボンシティ宣言を行っている。

「今年の夏の猛暑対策」として、発生率が高い高齢者への暑さ対策については、リーフレット等を高齢者が集まる場で配布し、熱中症予防の普及啓発・注意喚起を行っている。また、民生児童委員やケアマネージャーなどの民間業者からも注意を促している。次に、小中学校での暑さ対策については、今年度、町内全ての学校体育館の空調整備が完了の予定である。また、こまめに休息や給水を取るよう注意喚起している。

こども園では「熱中症対応マニュアル」等を職員が確認し、熱中症の症状や環境要因の理解をして予防を図っている。

熱中症特別警戒アラート発令時のクーリングシエルターについては、町内の13カ所の公共施設と12カ所の民間施設の合計25施設(受入可能人数1245名)で運用を開始している。

#### 乾燥時の山火事防止対策

**問** 今年は2月から3月までに大規模の山火事が4件と多発しており、本町の山火事対策を問う。

**答** 町の令和6年の火災件数は26件あり、そのうち林野火災が2件あった。綾川町は面積の約47%、51・42平方キロメートルが山林であり、ひとたび林野火災が発生すれば大船渡市のように大規模になる可能性はある。本町の対策としては、乾燥注意報が発令された際、火災発生の可能性が高いと思われるタイ

ミングで、防災無線を通じて住民の皆様にご注意喚起を行っている。

また、毎年3月に綾川町消防団及び高松市消防局高松市西消防署綾川分署、香川県防災航空隊の合同で林野火災防衛訓練を行い、林野火災が発生した場合に迅速な対応ができる体制を整えている。

**要請** 毎年約8000万人の人口増が続いている、世界的な人口の急激な増加により、地球温暖化はこれからも進んでいくと思われる。気候変動により、山火事は増加し、台風は強まり、災害は増えていくだろう。町行政では、町民に対し、継続して指導やアピールをし、十分に認知してもらえよう努め、町民の命を守ってほしい。



# スポーツで綾川町を盛り上げよう!

6月、綾川町は白熱したスポーツ大会で大いに盛り上がりました。今回は2つの大会を支えてくださったスポーツ推進員の委員長・副委員長にお話を伺いました。



## COPPA AYAGAWA 2025



6月8日(日)に開催された自転車ロードレースです。四国総体の部など全9カテゴリーが行われました。



我々、綾川町スポーツ推進委員は、第1回および第2回の「COPPA AYAGAWA」に、立哨員の班長として参加しました。暑い中、コース内の安全のため、他の立哨員の方たちと協力して活動しました。自転車レースを間近で見られ迫力のあるものでした。皆さんも、立哨員のボランティアとして、ぜひ参加してください。



スポーツ推進員  
委員長  
かわぞめ ひろゆき  
川染 浩幸さん

## 第7回 梅の里あやがわ アジャタ大会

6月29日(日)に開催されたスポーツ玉入れ「アジャタ」の大会です。ファミリー・混合の部も新設されており、様々な方に楽しんでいただけます。



アジャタ(全日本玉入れ)は4~6人の選手が合計100個(アジャタボール×99 + アンカーボール×1)のボールをバスケットに入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツです。1チーム・4~6名で構成されます。

本町においては、シニアの部・レディースの部・ジュニアの部・ファミリーの部等、ローカルルールを適用し大会を開催しています。

来年の開催も予定しておりますので、皆様の参加をお待ちしています。



スポーツ推進員  
副委員長  
にしむら ひとし  
西村 仁さん



6月15日(日)「主基斎田お田植まつり」が盛大に開催され、古式ゆかしいお田植風景が再現されました。晴天に恵まれ、大変気温の高い中で開催でしたが、町内外から多くの方々にご来場いただきました。改めて、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。お田植まつりを通じて、素晴らしい米どころである綾川町をアピールし、この行事が地域の活性化の一助となるよう望んでおります。

主基斎田お田植まつり 110

## 編集後記

110年目の節目となった「主基斎田お田植まつり」が盛大に開催されました。10年ぶりに登場した耕牛「れいわちゃん」による牛耕が披露されました。伝統文化の継承とは、単に「昔を再現すること」ではなく、「今をどう未来に届けるか」の問いそのものです。土に触れ、牛と歩き、子どもたちが田に手を伸ばす光景は、まさにその答えのひとつのように思えました。さて、6月定例会にて慎重なる議案審議を終えました。町民の皆様が必要としている情報を的確に伝えることに、より一層注力していきたいと考えています。「単なる情報発信」ではなく、「伝わる」ことにこだわっていききたいと思っております。これからも暑い日が続きますが何卒ご自愛ください。

(文責 森 繁樹)

## 議会広報編集委員会

委員長 十河 茂広  
副委員長 大西 哲也  
委員 川崎 泰史  
委員 三好 和幸  
委員 浜口 清海  
委員 森 繁樹  
委員 小田 郁生  
委員 植田 誠司